

平成21年度 学校評価実施報告書

| 領域 | 自己評価の結果 (達成状況・結果の分析) | 改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向) |
|--------|---|---|
| 学校経営 | <p>自己評価資料アンケートを保護者・全校生徒・全職員に対して実施し、その結果を全て開かれた学校づくり委員会で検討した結果、具体的ないくつかの改善案の提案がなされた。</p> <p>ホームページについては、迅速に更新できた。(1学期:60回以上 2学期:50回以上)授業公開週間は設定したが参加者が少なかった。</p> | <p>具体的な改善案ですぐに実施できるものは年度途中から積極的に取組んできたが、目標を絞って実施すべきという提案が多い。具体的提案は多岐に渡っており、改善方策の重点化が課題である。</p> <p>アクセス回数をより増やすようホームページの掲載内容をより工夫する必要がある。授業公開方法を検討し、参加者増の工夫が必要である。</p> |
| 学習指導 | <p>授業態度について改善が見られるものの、職員間に指導の差があり、改善が必要である。</p> <p>6月に生徒による授業評価アンケートを実施し、全教科で校内研究授業を実施した。また、それらの結果を踏まえ、全教科で教科別研修会を実施し、検討した内容を職員会議で報告した。(詳細は別紙)</p> | <p>1つからでも全職員で一致して指導することを始める取組として、授業開始時に服装を整えさせる指導を全職員で徹底することを確認した。</p> <p>教科別研修会の結果(詳細は別紙)に示された具体的改善方策に組織的に取組む必要がある。</p> |
| 生徒指導 | <p>朝の立ち番指導については毎朝、実施できた。昨年度比1,2学期を通して1年は47.1%減、3年は24.2%減と大きく減少した。2年は1~2学期のトータルでは10.3%増であるが、2学期だけでは2%減と徐々に改善している。</p> <p>人権講演会を2回実施した。LHRでワークシートと討論会を行い、人権意識を涵養した。</p> <p>各学年とも学期に1~2回の個人面談の実施している。またさまざまな問題を抱えた生徒に対し、必要に応じて個別面談、保護者面談を実施した。生徒の状況を学年、全職員が共有し、指導へ反映させることができた。</p> | <p>毎朝の立ち番指の結果、遅刻者も減少し、ネクタイの着用状況は大きく改善されたが廊下等での校内指導をより徹底する必要がある。</p> <p>その都度感想文を書かせ、講演や討論会への振り返りを行っている。講演会もただ話を聞くだけでなく、生徒によるロールプレイを行うなど心に響く講演となった。今後も身近な問題として人権問題を捉え、人権意識が生徒に根付くような方策を検討したい。</p> <p>複雑な家庭環境にある生徒が増えており、今後もよりきめ細かい生徒理解、職員間での情報交換、問題の共有が必要である。</p> |
| キャリア教育 | <p>各学年とも志望調査を実施し、進路意識を高めることができた。2年生全員が「進路先見学」「仕事の学び場」「インターンシップ」などのキャリア教育に携わり、職業意識を高めることができた。</p> <p>1年の総合的な学習の時間に調べ学習を含むキャリア教育を3時間配当。また2学期に講演会、3学期に分野別ガイダンスを実施。</p> <p>職場体験等の79名参加、責任感や就業意欲を高め、受け入れ企業からもよい評価を得た。</p> | <p>すでに1年生に対しインターンシップ体験談を話す集会を行ったが、今年度の成果を下の学年に伝え指導を継承していきたい。</p> <p>早い時期から進路に対する意識を持たせることはできているが、今後生徒が主体的に考えられるようにする指導する必要がある。</p> <p>今後も積極的に職場体験を実施したい。職員の役割分担など組織として取り組む体制作り課題が残る。</p> |
| 特別活動 | <p>部活動加入状況は47.4%で昨年(48.1)とほぼ同様であった。テニス、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、野球、柔道、剣道、吹奏楽、合唱が県大会出場。弓道が関東大会出場。</p> <p>文化祭では全クラス、文化系部活動、有志団体41団体が参加。インフルエンザのため一般公開を実施しなかった。</p> | <p>部活動の加入率の増加及び活性化が課題である。</p> <p>文化祭では生徒会が中心となり生徒一人ひとりが積極的に関わっていけるように支援したい。</p> |
| 特色あ | 1年生全員が藍染め体験を実施。生徒アンケート | 生徒が参加・実習できる体験は貴重であり、藍染 |

| | | |
|-------|--|-----------------------------|
| る教育活動 | ト結果でも好意的な評価を得た。千葉教育2月号に本校の取組が掲載された。 2年生が心肺蘇生、止血法に加え、AEDの講習など救急救命法の実技講習を実施。予定されていた日が台風を重なり、例年より規模を縮小しての実施となった。 | め、救急救命法についてより発展的に取り組んでいきたい。 |
|-------|--|-----------------------------|

| 領域 | 学校関係者評価の結果 | 学校評価のまとめ |
|--------|--|--|
| 学校経営 | <p>様々な意見要望に対して職員がそれに応じて本音を吐露できる環境があり、問題を真摯に受け止め真剣に問題解決を模索していることが伺える。今後はその学校が頑張っている姿をどう伝えるかが課題である。</p> <p>ホームページの更新状況、内容はすばらしい。今後はより見やすい、興味をひく内容の工夫に務めて欲しい。</p> | <p>問題点を絞った具体的な改善の検討が不足していたので、意見集約後の協議の機会を十分に取り、全職員が一丸となって取り組める重点課題を明確に示す工夫を行う。</p> <p>アクセス回数をより増やすには何が必要かを見る人の立場に立って検討し、ホームページの掲載方法・内容を刷新するために企画委員会で新たな構成案を作成する。</p> |
| 学習指導 | <p>検定などに積極的に参加させることで、より意欲を高め、達成感を生徒に与えることができるようになるのではないかと。</p> <p>教師自らが研究授業や公開授業を行い、自己研鑽と自己開示を行っており、生徒の興味関心を高める指導を工夫している。今後は少人数指導の充実など他教科の教員とも協力した体制作りが必要である。</p> | <p>緊張感のある授業の実施も重要であるが、生徒の内面からの意欲を高める工夫として、検定などにより積極的に生徒が挑戦できる体制作りを積極的に推進する。</p> <p>多様な学力の生徒に対応した授業内容の工夫を教科のみではなく、学年とも協力して効果的に行えるよう具体案を検討する。</p> |
| 生徒指導 | <p>基本的な生活習慣作りに一丸となって取り組んでおり、指導を好意的に見ている生徒も存在している。これからは教員間で共通理解を持って取り組むことにより留意して欲しい。</p> <p>他の生徒の気持ちを思いやることのできる生徒を育てるために楽しく過ごしやすい学校づくりを引き続きお願いしたい。</p> <p>積極的に生徒と関わり、心情を理解し、自立の道を示してくれる教師が存在している。時間をかけて生徒と向き合える環境の整備が必要である。</p> | <p>本年度の取組で一定の成果が見られたので、次年度は一歩進めた取組を全職員一致協力して推進していく。</p> <p>人権教育と次年度から始められる道徳教育を関連付け、本当の意味での思いやりの心を生徒に定着させる取組を計画的に実施する。</p> <p>分掌組織の効率化を進め、生徒と向き合う時間を確保し、より積極的に生徒の関わり、生徒の心情を職員が全体で理解できる環境づくりを推進する。</p> |
| キャリア教育 | <p>様々な経験を生徒にさせ意識を高め、3年間を見通した進路指導が行われており、生徒は学校の方針を信頼している。</p> <p>総合的な学習の時間におけるキャリア教育は十分な成果をあげている。今後はその中で資格取得への関心を高める工夫も取り入れてはどうか。</p> <p>地域と協力し、生徒にとっても大変良い経験の場を与えられた。今後はこの取組をより一層発展させて欲しい。</p> | <p>今後は保護者の進路選択の認識を深めるための取組をより強化し、学校と家庭が連携してより確かな進路指導を工夫する。</p> <p>生徒が主体的に考えられるようにする指導を工夫する中で、資格取得の意義の浸透も含めた計画的な指導計画を作成する。</p> <p>職員のバックアップ体制を強化し、今年度以上の多くの体験先を確保し、生徒の興味関心に応じた職場体験の機会をより多く与えられる計画を立案する。</p> |
| 特別活動 | <p>部活動は全人的な教育を施す場としても重要であり、より一層の充実をお願いしたい。</p> <p>学校がより活発になるよう、また、生徒に責任を持たせる意味でも、生徒が作り上げられる行事をより積極的に進めて欲しい。</p> | <p>分掌業務を見直し、適切な指導者の確保に努め、それぞれの実態に応じ、部活動の魅力を高める工夫を行い、加入率を向上させる。</p> <p>生徒会での行事計画立案の段階から、生徒に責任を持たせた指導を工夫する。</p> |

| | | |
|-----------------|---|---|
| <p>特色ある教育活動</p> | <p>藍染め体験は他校にも見られない本校の特徴的な取組である。今後も継続的により発展させて進めて欲しい。</p> <p>地域の協力の下に実施される救急救命法などの体験は生徒の将来のためにも大変重要である。今後も、卒業までに全ての生徒が学ぶ機会を得られるように継続して欲しい。</p> | <p>生徒にとって貴重な体験であるこの取組をより発展的に推進できるよう、地域との協力関係を強め、年度当初より、本年度の反省点を踏まえ、具体的な改善方策を協議する。</p> |
|-----------------|---|---|